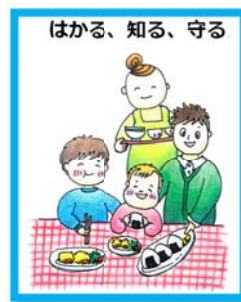


原発事故から6年 脱被ばく社会の実現をめざして

阪神・市民放射能測定所4周年企画

原発事故から7年目に入りました。原子力緊急事態宣言は解除されていないにもかかわらず、避難者への住宅支援の打ち切りや避難区域の解除が強行されています。

過酷な汚染実態や健康被害実態は隠され、原発事故への国民の関心が薄められようとしています。しかし、子どもたちの命を守ろうと避難移住した人々、汚染された大地で少しでも被ばくを避けて生きようとする人々が存在する事実を消し去ることはできません。多くの市民が、原発事故をきっかけに脱被ばくを選択する権利が認められ、原発のない社会をめざそうと決意しました。市民測定所は、この思いにこたえて、取り組みを続けて行きます。未来に希望をつなぐ和やかな交流ができればと思います。



記念講演(13時)

「原発事故から6年。被ばくのリスクと向き合い、未来を生き抜くために」

守田敏也さん(フリーライター)



放射能汚染や健康被害隠しの実態 や被ばくを避けて生き抜くすべなどをお話しいたします。

5月27日(土) 11時~16時30分

西宮市勤労会館 第8会議室

資料代500円 阪神西宮駅東へ10分・JR西宮駅南7分

キッズスペース用意します



プログラム

11時 開場

*会場では、測定結果等の展示や有機野菜やお昼弁当なども販売します。ゆっくり過ごしていただけます。

12時30分 歌・演奏と朗読

総合工作芸術家

だるま森+えりこ

「After311のこどもたち」



13時 測定所からのあいさつ

記念講演

守田敏也さん

質疑応答

15時 交流会(発言予定)

有機無農薬栽培農家

避難移住の方々

16時30分 終了

●守田敏也さんプロフィール

京都市在住。同志社大学社会的共通資本研センター客員フェローなどを経てフリーライターとして活動中。原子力政策についても独自の研究・批判活動続け、被曝地を度々訪問。関西を中心に各地で放射線防護の講演を積極的に行っている。2014年よりドイツ・ベラルーシ・トルコ・ポーランド・台湾でも講演を実施。とくにトルコでは日本からの原発輸出予定地シノップに関わりを持っている。兵庫県篠山市原子力災害対策検討委員会委員も担っている。ブログ「明日に向けて」で日々、情報を発信するとともに、物理学者矢ヶ崎克馬氏との共著『内部被曝』(岩波ブックレット)、原発災害対策について述べた『原発からの命の守り方』(海象社)がある。

企画内容

- 展示：土壌・肥料・食品等測定結果
- 3年間の測定記録冊子等書籍販売
- 有機無農薬野菜販売(放射能測定済)
- お昼弁当販売(有機無農薬・測定済)
- 放射能無料測定(1リットル要)

阪神・市民放射能測定所 (〒662-0916 西宮市戸田町5-21 つむぎの家内)